

対話と出会いで、一步が変わる。

TIP*S POST

vol.10

<https://tips.smrj.go.jp/>



Access



〒100-0005 東京都千代田区丸の内 2-5-1 丸の内二丁目ビル 6F 611 区
JR 東京メトロ丸ノ内線 …「東京駅」丸の内南口より徒歩3分
東京メトロ千代田線 …「二重橋前駅」4番出口より徒歩3分

TEL: 03-6212-1840 [受付時間: 11:00 ~ 18:00(平日)]
FAX: 03-6212-1841 E-MAIL: info-tips@smrj.go.jp

Be a Great Small.
中小機構

TIP*S とは何か

TIP*Sは、中小機構が運営する新しい学びの場です。年間約200回のワークショップやイベントを通じて参加者同士が対話することで、それぞれが新たな気づきや想いを胸に、自ら決断し、アクションを起こし始めています。イベントに集まるのは、何か行動したいと感じている多彩な方々。中小企業と大企業、地域と都会など、垣根を越えた人と人との出会いを生みだし、それぞれの想いや活動を支え合う関係づくりを目指しています。

TIP*S での学び

TIP*Sのワークショップや講座は、バリエーション豊か。ひとりひとりの「一歩進みたい」を、丁寧に応援したいという思いで、さまざまな企画を考えています。そして、イベント当日は、対話が自然と盛り上がる雰囲気づくり、さらに学びを深めたい方同士のつながりづくり力を入れています。まずは気軽に、関心のあるイベントに参加してみてください。多様なバックグラウンドを持つ参加者同士で話すほど、刺激を受けあってモヤモヤします。そのモヤモヤが、自ら考え、行動するためのステップ。いつのまにか「一歩進んで」いるはずですよ。



TIP*Sの「学び」を旬のコンテンツからご紹介



時折耳にする「メタ認知」が切り口のキーワード。ファシリテーターを務める大西正泰さんによると、メタ認知とは「もう一人の自分が自分を見ている状態」を指すそう。最近話題のアンガーマネジメントもそのひとつ。「もう一人の自分」をつくり出すことで状況を冷静に見つめることができ、自分を楽にするといった効果があります。

さて、今回のテーマは「地域や複業、多拠点に自分が興味を持つのはなぜだろう」。地方再生コンサルタントでもある大西さんと、「そもそもなんで？」を考える時間が始まります。テーブルごとのワークショップでは、自分の好き嫌いマップをつくって見せ合うことに。好きと嫌いを縦軸、苦手と得意を横軸の両端に置き、日々の行動をマップ上に配置します。その後、グループでの対話を通して、なぜそれが好きなのか、苦手なのかなど「そもそもどうして？」をあぶりだしていきます。「自分は…？」と客観的に自己を見つめる面白さを感じたところで、大西さんから本日お集まりのトウキョー人たちに3つの問いが投げかけられました。

- ・ 地方を元気にしたいですか？
- ・ なぜ多拠点したいのですか？
- ・ 複業したいですか？

地方を元気にしたいと思う方が多数を占める中、大西さんから示されたのは、東京以外の自治体は100%財政赤字で、東京の財源が地方を支えているという現実。それを踏まえて対話を再開しますが、みなさんの思いは変わったでしょうか…。

「それを知っても地方を元気にしたい、多拠点生活をしたいと思うトウキョー人を『メタ認知』的に見ると、もしかして東京の生活に疲れ、別の居場所として地方を求めているのでは？『複業』への関心も、目の前の仕事に疲れ、別のフィールドで力を発揮したいと思っているからでは…？」

そう問かける大西さん。続いて「元気な地方がトウキョー人の「生きづらさ」をやわらげ、豊かな時間を与える可能性がある一方、地方が元気になるためには、トウキョー人が幸せで東京が豊かになる必要がある」そんな大胆な仮説を提示しました。自分の「地方を元気にしたい！」「多拠点したい！」という主観から離れた視点を持って『メタ思考』することで、誰もが大胆な仮説を生み出せるのかもしれない。

イベント終了後は楽しく乾杯でクールダウン…のはずが、あちこちで対話が止まりません。「そもそも話」は普段なかなかできないので、参加者同士のつながりが一気に深まったようです。

『場』のウラガワ



だえみ——大西さんとは、3年ほど前に地方のイベントで出会いました。活動は丁寧なのにとがっている部分もあるし、本当は繊細な方なのにこの見た目ワルオヤジ感(笑)。ギャップにやられて、TIP*Sラジオという企画に出てもらいました。大西さんは講演で全国を飛び回っているんだけど、その場でよくTIP*Sのことを話題にしてくれているそうです。きっと、根本的な価値観が合っているから話してくれるんだろうなあって思っています。

マサ——どこが似てるかというと、イベントとか企画ってゴールを先に決めることが多いでしょ。たとえば「人をたくさん集める」というゴールに向かって逆算するんじゃないかって、そもそも面白いことやっていたら人は自然と集まる。成功のために何か手段を講じるのではなく、やっているうちに何か起きるといった考え方が近いと思いますね。

だえみ——でもね、ちょっと今日はイベントの進め方でお互いの意見が食い違ったの…。

マサ——「…ちょっと違う」って、イベント始まる一時間前の打合せで言われたんですよ(苦笑)！普段、地域創生にまつわる講演のときは、地域の方の気持ちに火つけなアカンから、刺激強めなんです。今日は…そういうのなしに、参加者みなさんの腹の中をストレートに開いてもらって、丁寧にすくいあげるようにしたいと思います。

だえみ——そう！それなの！今日のタイトルに入ってる「メタ認知」「多拠点」「地域」「複業」はTIP*Sに来てくれる方の関心が高いワードなので、そもそもなんで関心を持ったの？という前提から揺らしてみたい。

マサ——この時間を通して、参加者のみなさんが迷路に迷い込んでいたら理想ですね。迷路を抜けるためには、上から俯瞰する必要がある。「そもそもなんでやっけ？」と問うことで当たり前が揺らされて迷子になったら、メタ認知をしないと出られないんですよ。おあとがよろしいようで(笑)。

PROFILE 大西 正泰 さん

一般社団法人ソシオデザイン代表理事。1700人の過疎の街に30以上の事業が立ち上がった徳島県上勝町を核に、起業家育成を通じた全国各地の地方創生に関わっている。教育学及び経営学修士。香川大学ビジネススクール非常勤講師ほか。2018年中小企業庁「創業機運醸成賞」受賞。

Voice 参加して下さったみなさまから



さくらこさん

誰でも受け入れてくれる空気感が好きで、月3、4回参加しています。参加者同士がこんなに仲良くなる場所はめずらしい気がします。今回は「メタ認知」の意味を知りたくて来ましたが「東京が豊かになることが地方を元気にする方法」という大西さんの仮説で都心と地方のつながりを改めて感じられ、予想外の学びになりました。



にしざわさん

不動産業に携わっていることもあり、「多拠点生活」を志向する人がなぜそう思うのかに興味を湧いて参加しました。対話を通して、生まれ故郷であったり、旅や仕事でかわりを感じた土地で自分の力を活かしたいと考える方が多いんだと感じました。今日は2回目の参加ですが、アクセスの良さは本当に魅力的ですね。

TIP*S設立メンバーのおついでが2019年4月1日付けで異動になりました。

「感謝」—— 変わり続けるTIP*S

2014年10月にオープンしたTIP*S。たくさんの方にお越しいただき、対話とつながりの中から新たな一歩が生まれてきました。小さな一歩も大きな一歩も、皆様の「一歩進めよう」という気持ちはとても尊いもので、そのエネルギーがこのTIP*Sという空間に目に見えないけれど確かに息づいています。



そんな皆様からのエネルギーに触れて、私自身にも驚くぐらいの変化がありました。ここで学んだこと。「自分」と向き合うことの大切さ。だれにでも「役割」があること。それは人と人との関係性の中で変化していくもの。TIP*Sを超えてもどこかでつながり続けるもの。これからもTIP*Sの大切にしていくところは変わらず、でも少しずつ変わり続けます。一人ひとりが自分の意思でアクションする。その積み重ねが、豊かであるのある日本につながるかと信じて。ありがとうございました

おついで



ほんざぶ 突撃レポート 「地域のサードプレイス」の今

しえあひるずヨコハマ (横浜市神奈川区)

今回は第2回(2016年6月)登壇の荒井聖輝さんが運営される「しえあひるずヨコハマ」へ。1958年に荒井さんの曾祖父が建てたアパートをリノベーションした、住宅型複合施設です。時代とともに失われた地域の結びつきを、今にフィットする形で再現したいという思いで2017年4月にオープン。以来、地域の方が中心となってスナックやハロウィンイベントを開いたり、区内在住の方が所有するキャンピングトレーラーを設置して地域内でシェアし始めたりと、たくさんのつながりが生まれています。このようなつながりが生まれている背景には、元々この土地が宿場町というひとつのコミュニティであったことに由来する「結びつきを大切にすマインド」も大きく影響していると思います。地域の助け合いに立ち返った、しえあひるずヨコハマ発の新たなカルチャー。しえあひるずという名の通り、この丘自体がひとつのコミュニティへと育っているのだとひしひしと感じました。

